

連絡先 ①	氏名	犬塚 隆志
	所属・役職	事務局長
	アドレス	inutsuka.takashi.gn(at)un.tsukuba.ac.jp ※(at)を@にかえてください
	電話番号	029-869-8030
連絡先 ②	氏名	友田 和美
	所属・役職	イノベーション・ディレクター
	アドレス	tomoda.kazumi(at)tsukuba-gi.jp ※(at)を@にかえてください
	電話番号	029-869-8030

「来年度に向けての取組み(産学連携の取組み・支援、中小企業の支援、競争的資金等)」

茨城県の「次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業ビジネスプラン実証支援事業」で次世代技術・AI/IoT技術を取り入れ新事業にチャレンジする県内企業の支援を行っています。
 先端技術やそのノウハウ、次世代技術活用等により新規事業・製品化を目指す中小企業を支援します。
 (1)事業化や市場開拓等へのアドバイス(メンタリング)
 (2)技術的課題解決のためのアドバイス、筑波研究学園都市の研究機関・大学等とのコーディネート
 (3)事業化・製品化につなげるための実証支援および資金面の支援(関連助成金等の情報提供・応募支援とともに、大学・研究機関等との産学連携での競争的資金獲得等の相談支援も含む)
 ほか、業界動向、技術動向等の各種情報提供や広報戦略支援など、次世代技術・革新技术からの新ビジネス創出を支援します。

「アピールしたいこと(つくばの研究機関同士で、推進したい研究や取り組みたいことを含む)」

JST事業の社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型は、大学の優れた技術シーズを基にした成長ポテンシャルの高い大学等発ベンチャーの創出を促進することを目的としており、JSTから支援を受けた大学の主に産学連携部門が実施するもの。筑波大学は、令和2年度からJSTの支援を受けてSCORE大学推進型の運営を開始。
 支援の対象は下記3点をすべて満たすチームの研究開発課題を対象とします。
 (1)筑波大学の教員あるいは大学院生がチームの研究代表者(責任者)となり、チームの研究開発課題が起業を前提としていること。国立研究開発法人研究機関の研究者が構成員として参画するチームの研究開発課題も応募可能である。
 (2)筑波大学の研究成果に基づいた明確な差別化技術が含まれている研究開発課題であること。
 (3)大学発ベンチャーの起業意志があるチームの研究開発課題であり、SCORE大学推進型事業終了後にSTARTに申請もしくはベンチャー創業を進めることを前提とすること。

その他

(イベント案内)
 (合同連絡会への要望)
 など

「合同連絡会」「筑波研究学園都市科学技術支援セミナー」として年数回開催しておりますJST、NEDO、AMED等の研究開発・スタートアップ・技術移転支援事業の説明相談会や勉強会、茨城県やつくば市の最新技術や研究成果を社会実証するための制度の紹介や説明会等について、開催を希望する事業等あればお寄せいただければと思います。